

議合の雨才席上前記五工場、内木村、森、  
二工場及奥山工場、職工約五十名直に入会し  
伊丹所の合会支部設置を語りタルは木村、日、  
出二工場職工約四十名、客員も之に應じ本  
部特派員及奥山工場、重ナル者極力勸説し  
結果精誠解り得タル也才元何れ熱考の上回  
答スルに、ナリ何者具件酌減案あり散会せり  
而して同組合加入シタル五十名ハ元大阪組合  
(本組合前身)加入シ居リタル關係上支部設置  
ニ賛成シ同會ノ勢力ヲ張ラントシテ遂ニ勸中  
ナルモ未ダ支部設置ノ案ハ至ラス之レカ設置  
ハ二川西村側ノ向崎ニ依リ決スル元ノ如クナル  
懸設置トシハ多少ノ曲折ヲ免レサルヘシ(長谷川)

大阪府下散在ノ支禰工場五十ヶ所ニ就職者  
ハ職工數約千四百名ニ至リ當テ賃銀他上要  
求等ニ因テ労資同ノ紛議ヲ醸成スルナリ  
カラリシハ若年十月該職工大部分カ以テ  
大坂支禰職工組合ヲ組織シテ以後一層紛議  
頻発シ、頗リ在會一月以降、前所三團三直  
リ同盟罷業ヲ敢テ最近ハ此等本年何  
價銀他上率ニ反對シ組合員九百四十一名罷業  
ハ偶ニ斯堂界圍散ナリニ關係上等業主ノ  
態度強硬ニシテ職工側ノ失敗ニ端ニシテ  
組合ノ信望ヲ失フト共ニ脱退者續出ニ壞崩  
ハ已ハナキニ至レリ、幹部員ハ之カ善後策トシ  
テ組合組織ニ大改革ヲ加ヘ大日本美術友禰